



発行者： 高崎康行
発行日：24年4月23日
第2号

つぶやき 1

どれほど自分で我が子にしたあげたかったことか、他人の私が思う以上に切なくてどうしようもない悲しみだったことでしょう。子どもを預かる重みを感じます。

「私のかわりに」 母30歳余命3ヶ月、娘1歳
もう私が^{まも}護ることができないから
どうかこの子が道端で泣いていたら
大丈夫だよと声をかけてやってください。
どうかこの子がひとりぼっちで公園にいたら
一緒に砂山をつくってやって下さい。
どうかこの子が運動会でかけっこをしたら
頑張ったねと抱きしめてやってください。
そしてこの子が参観日に淋しそうに
後ろを振り向いたら、手をふって
ウインクをしてあげて下さい。
そして中学にあがった日には
満開の桜を背景に
写真をとってやって下さい。
そして反抗期には、何をしてもいい、
人に迷惑だけはかけるんじゃない
体だけは大切にきなさいと伝えて下さい。
いずれ社会に出ているんな壁とぶつかったとき
下だけは向くな、人のせいにするなと伝えて下さい。
そして心から好きな人が現れたら
求めずに与えなさいと。
そしてどうかこの子の結婚式の日には
たくさんの笑顔で祝ってあげて・・・
それからどうかこの子が母親になって
涙しながら我が子を抱き
絶えることない強い愛を知ったとき
あなたの母は変わることなくその愛を
今もあなたに注いでいると伝えて下さい。
それから最後に
どうかこの子に
私は世界一幸せな母親だったと伝えて下さい。
どうかどうか世界中の皆様
私のかわりをお願いします
私のかわりに。

※ 出典：最後に伝えたかったこと 著者：瀧本光静 発行所：株式会社 彩図社

つぶやき 2

保護者と子どもに好かれた
いばっかりに……

私は、いわき市立中央台北小学校が開校したときにそこへ赴任しました。明星大学を中心とした新興住宅街で、大学教授の子ども達もいる保護者が結構「うるさい」と言われていました。昨年退職された福島一小的平田校長先生、現義務教育課長の吉田先生はじめそうそうたる顔ぶれです。「高崎ではなく、優秀な先生を担当にして」と言われるのは目に見えていてとても辛いです。そこで、私は受け持った初めての授業参観日には、次のような作戦を実行しました。

作戦 1 「得意な体育をして1時間で保護者が驚くような上達をさせて信頼を得る。」

※とび箱が多かったです。

作戦 2 懇談会で、「どの先生も優れた分野を持っています。どうせ1年か2年で担任はかわります。担任の先生の良いところを子どもの前でどんどん褒めて、伸ばしてもらえば、先生がかわる度に色々な分野で伸びていきます。いやな先生と言うイメージを親子で持って過ごすより、ずっと得です。」と話しました。

※ 先生方の得意な指導を生かして、保護者の信頼を得られるのが一番ですね。

「一人は、みんなのために。みんなは、一人のために」よく、学級に掲示していましたが、子ども達のみならず、私たちもそうありがたいものですね。

そんな学校になると信じて、学校経営にあたりたいと思っています。

よろしくお祈りします！